



コロナ退散と医療従事者への感謝を込め、打ち上げられた花火―常陸大宮市小舟

ら、イベントを心待ちにしていた市民らを励ます意味合いも込めた。

当日の3密を避けるため、日時や時間など非公開で行われ、事前の周知も近隣住民らごく一部に限った。

午後7時から15分間、2、3号玉約80発が打ち上げられた。山々に響く花火の音が鳴ると、地区住民らは庭先や道端に出て、鮮やかに彩られた夜空を見上げながら、医療・福祉の現場などで奮闘する方々への感謝と、早期収束を願った。

コロナ収束願ひ花火

常陸大宮 医療従事者に感謝も

新型コロナウイルス感染症の収束を祈願し、医療従事者への感謝の意も込めて4月24日夜、常陸大宮市小舟の市やすらぎの里公園内で花火が打ち上げられた。

同公園の指定管理者となっている市森林組合（角田二雄組合長）が、同25日予定されていた同公園さくら祭りが感染拡大防止のため中止となったことなどか